

日本・タイ国際会議

環境教育を通じた日本・タイの大学連携

カリキュラム, フィールドワーク, 人材交流等をめぐって

本会議では、タイのプラナコーン=ラジャバト王立大学より5名の先生と1名の大学院生をお招きし、環境教育活動におけるカリキュラム、フィールドワーク、人材交流等の視点からアプローチした大学連携をはかることを目的とします。

ラジャバト王立大学はタイでも有数の教員養成系大学として知られ、とくに100年を超える最も伝統のあるプラナコーン=ラジャバト王立大学においては、「環境教育センター」を中心に環境教育の人材育成も積極的に行なわれています。また、2004年度より甲南大学環境総合研究所の開始にあたり「地球環境と世界市民」国際協会の事務局を設置して環境教育研究機関 諸大学と連携することにより、環境教育のグローバル・スタンダード化の推進を行ないたく考えられています。

招待講演においては、Siriwat Soondarotok氏(プラナコーン大学環境教育センター長/国際協会・理事)よりプラナコーン大学の環境教育ターで実際に行なわれている環境教育のカリキュラム、フィールドワークを紹介いただくとともに、環境教育センターを中心として行なわれているオーストラリアとの人材交流と人材育成の事例について講演していただきます。基調講演において、「環境教育の国際的な大学連携の試み タイ・プラナコーン大学、中国・北京大学、カナダ・ヴィクトリア大学との国際会議と学術交流」について講演いたします。

またパネル・ディスカッションでは、「環境教育を通じた日本・タイの大学連携 カリキュラム、フィールドワーク、人材交流等をめぐって」のテーマのもと、日本とタイにおける大学の環境教育カリキュラム、フィールドワーク事例を共有化し、人材交流等についてディスカッションする予定です。

さらに、サテライト・シンポジウムでは日本・タイ学生フォーラムを企画しております。大学生による環境教育活動とその展開 循環型コミュニティの創造とパートナーシップの構築をめざして」のテーマのもと、プラナコーン大学甲南大学で行なわれている環境教育の取組について報告し、今後目指される大学での環境教育について学生達の視点から情報交流を行ないます。

本大会開催に至るまでの経緯として、1996年に開催されました国際シンポジウム「環境倫理と環境教育 - 人と自然の共生をめざして -」(於:甲南大学)では、Laddawan Kanhasuwan氏(プラナコーン大学環境教育センター・元センター長)をお招きしました。1998年に国際シンポジウム「環境倫理と環境教育 - 科学技術と人間性をめぐって -」(於:甲南大学)が開催され、Siriwat Soondarotok氏をお招きしました。さらに2000年には、日本・タイ国際会議「環境倫理と環境教育」をプラナコーン大学で開催し、会議終了後、エコツアーを行ないました。カオヤイ国立自然公園に訪れ、自然体験プログラムを経験し、またUNESCO/PROAP(アジア・太平洋地域教育事務所)等を訪問しました。そのようにして、タイの歴史や伝統に触れ、文化交流を行ないました。さらに2002年には、第二回日中環境情報交流シンポジウム - 日中のパートナーシップによる環境教育 - を開催しました。

本大会を通じて、さらなるタイと日本とのパートナーシップの構築とともに、カリキュラム研究、フィールドワークにおけるモデル事例の共有化、さらに今日重要とされているソフト面の人材交流においても、示唆の多いディスカッションが展開されることを予定しております。

皆様の多くの御参加をお待ちしております。

プログラム

- 12:20 受 1号館133教室)
- 12:50 開 演
- 12:55~ 13:00 開会挨拶 谷文章氏(甲南大学環境総合研究所所長)
- 13:00~ 13:40 招待講演「プラナコーン=ラジャバト王立大学・環境教育センターにおける取組 オーストラリアとのパートナーシップの事例より」
Siriwat Soondarotok氏(プラナコーン=ラジャバト王立大学環境教育センター長/国際協会・理事) 【通訳あり】 通訳 典慶氏
- 13:40~ 14:35 サテライト・シンポジウム本：タイ学生フォーラム 【英語のみ】
「大学生による環境教育活動とその展開 循環型コミュニティの創造とパートナーシップの構築をめざして」
コーディネーター 谷文章氏(甲南大学・教授)
日本側発表者 日本環境大学における環境教育実践報告と今後の展望」
泰典 岡田 桔梗 祐子氏・松田 拓也氏・藤井 孝明氏(甲南大学・大学院)
タイ側発表者 プラナコーン大学における環境教育活動の報告とその成果」
Artorn Thongprasom氏(プラナコーン=ラジャバト王立大学・大学院)
- 14:35~ 14:50 休 憩
- 14:50~ 15:40 基調講演「環境教育の国際的な大学連携の試み
プラナコーン大学、中国・北京大学、カナダ・ヴィクトリア大学との国際会議と学術交流」
谷文章氏(「地球環境と世界市民」国際協会・会長) 【通訳あり】
- 15:40~ 15:50 休 憩
- 15:50~ 17:50 パネル・ディスカッション「環境教育を通じた日本・タイの大学連携 カリキュラム、フィールドワーク、人材交流等をめぐって」
コーディネーター 谷文章氏 【通訳あり】
パネリスト:
Siriwat Soondarotok氏(プラナコーン=ラジャバト王立大学環境教育センター長)
「環境教育におけるカリキュラムの開発と展開」
Chinatat Nagasiam氏(プラナコーン=ラジャバト王立大学)
「大学教育におけるフィールドワークの内容と課題」
Chaweewn Haemnak氏(プラナコーン=ラジャバト王立大学)
「環境教育における人材交流と環境教育活動のネットワーク化」
*共同研究者 Phongthanykarn氏, Nualenong Saengchaoen氏(同大学)
- 17:50 閉会挨拶 文筆氏
- 18:30~ 20:30 懇親会 (甲南大学学館1階カフェ・パンセ)



Konan University

Rajabhat Institute Phranakhon



- 会 期：2004年5月19日(水)
- 会 場：甲南大学(1号館133教室)
- 主 催：甲南大学環境総合研究所・甲南学園平生太郎基金科学研究「環境学の統合化の研究 学部横断カリキュラムの体系化と環境教育の国際的なパートナーシップ構築の試み」・「地球環境と世界市民」国際協会
- 共 催：プラナコーン=ラジャバト王立大学/環境教育センター・日本環境教育学会関西支部
- 後 援：日本環境教育学会
- 参加費：500円[資料代]
- 懇親会費：一般：3,000円 学生：2,000円

甲南大学環境総合研究所・「地球環境と世界市民」国際協会事務局
〒658 8501 神戸市東灘区岡本8 9 1 甲南大学文学部 谷口研究室気付
TEL/FAX：078 - 435 - 2368 , E-mail：fumiaki@konan-u.ac.jp